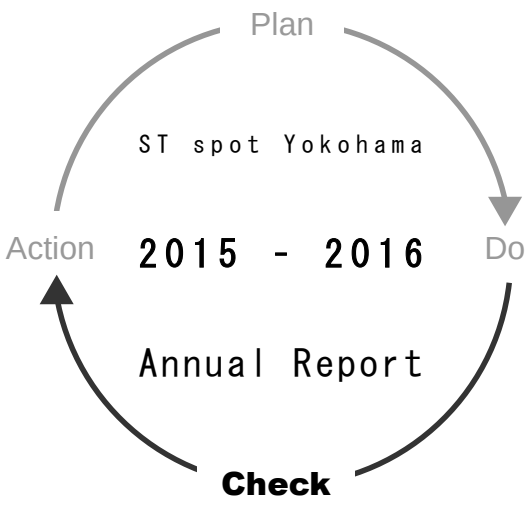


特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

平成２７年度 事業報告書

平成２８年３月３１日

ごあいさつ

ＳＴスポット横浜は「アートの力を現代社会に生かす」とのミッションに基づき活動を続けました。また、法人事務局長には田中真実が就任、下半期から劇場部門のＳＴスポット館長補佐として急な坂スタジオの佐藤泰紀を館長補佐に迎え、地域連携事業部には高荷春菜が加わるなど、充実した法人事務局運営・事業実施体制を整えました。

【ＳＴスポット】
施設運営事業では、昨年度に引き続き高い稼働率で安定した施設提供を行いました。創造発信事業では主催事業としてドキュントメント『となり街の知らない踊り子』、N.N.N.after『ダンスからこんにちわ。』、泉秀樹『きはなす』など劇場を生かした作品づくりを行い、アーティストにとっても次の展望につながる成果を得られました。また、提携公演 2 作品を上演したロロとは、その成果を元に、次年度の共催公演実施へと繋げます。

【地域連携事業部】教育普及事業では、昨年度大幅増となった取組実施校数を維持し、136 の市内小・中学校、特別支援学校で、芸術家による授業を行いました。交流促進事業として二年目となった、横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイトの事務局運営も軌道に乗りました。このほか今年度は新たに障害者アート事業を展開し、新しいアートの可能性を探る中で他事業との相乗効果も見えてきました。

今後とも、皆様方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜
理事長　小川智紀

目　次

ＳＴスポット　施設運営事業 …… 2
創造発信事業 …… 3
地域連携事業部　教育普及事業 …… 7
交流促進事業 …… 11
平成 27 年度財務諸表 …… 15

ＳＴスポット　施設運営事業

1. 概況

・年間開館日／315 日（前年度：302 日）

・プログラム数／71 本（前年度：61 本）

・年間稼動日／284 日（前年度 272 日）

・利用団体数／32 団体（前年度：28 団体）

・稼動率(稼働日÷開館日)／90.2%（前年度：90.1%）

・開館率(開館日÷350 日)／90%（前年度：86%）　*350 日＝ビル休館日およびメンテナンス休館を除いた年間稼働可能日数

2. 月別の状況

	項目		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	備考
1	開館日		24	28	26	28	29	27	24	27	22	28	27	25	315	
2	稼動日		19	28	23	26	29	24	19	25	17	28	25	21	284	
	種目別	一般利用	4	1	7	8	12	12	19	9	10	0	8	14	104	36.6%
		自主他	15	27	16	18	17	12	0	16	7	28	17	7	180	63.4%
	ジャンル別	演劇	0	11	20	5	5	12	15	19	10	13	16	14	140	49.3%
		ダンス	1	2	0	12	19	3	3	3	0	7	8	0	58	20.4%
		稽古	16	13	3	8	4	1	1	2	7	7	1	3	66	23.2%
		講座	1	0	0	1	1	8	0	1	0	1	0	4	17	6.0%
		その他	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.1%
3	プログラム数		6	9	4	8	6	7	6	5	4	4	6	6	71	
	種目別	一般利用	3	1	2	3	3	4	6	3	2	0	2	3	32	45.1%
		自主他	3	8	2	5	3	3	0	2	2	4	4	3	39	54.9%
4	稼働率		79.2%	100%	88.5%	92.9%	100%	88.9%	79.2%	92.6%	77.3%	100%	92.6%	84.0%	90.2%	

・ＳＴスポット総入場者数：9,931 名（前年度：7,718 名）

・利用団体観客数：3,491 名（前年度：3,055 名）

・利用団体スタッフ数：1,004 名（前年度：879 名）

・事業観客数：4,095 名（前年度：2,574 名）

・事業スタッフ数：854 名（前年度：1,210 名）

3.施設内で行った主催、共催公演等

	事業名	日時	会場	入場料(円)	回数（回）	動員（名）	スタッフのべ（名）	出演者のべ（名）
主催公演								
	ドキュントメント『となり街の知らない踊り子』	5/7-5/11	ＳＴスポット	2,500	7	355	8	40
	N.N.N.after『ダンスからこんにちわ。』	7/29-8/2	ＳＴスポット	2,300	6	137	42	35
	髙橋和誠『Constellation』	8/20-22	ＳＴスポット	2,500	4	80	11	35
	相模友士郎『ナビゲーションズ』	9/25-27	ＳＴスポット	2,300	4	102	4	16
	Tradition⇄Contemporary vol.1 泉秀樹「きはなす」	1/28-31	ＳＴスポット	2,500	4	99	7	36
	民俗芸能調査クラブ春の実験まつり	3/18	ＳＴスポット	500	1	8	5	4
共催公演								
	Dance in Asia 2015	7/24-26	ＳＴスポット	1,500	4	229	18	42
	岡崎藝術座『イスラ！ イスラ！ イスラ！』	2/3-2/8	ＳＴスポット	2,800	6	368	45	40
	岡崎藝術座『+51 アビアシオン,サンボルハ』	2/6-2/9	ＳＴスポット	2,800	3	182	12	20
	村川拓也『終わり』	2/12-2/14	ＳＴスポット	2,300	4	141	12	30
	手塚夏子『15 年の実験履歴』	2/15-2/16	ＳＴスポット	2,500	2	112	2	6
ワークショップ／講座								
	山縣太一公開稽古	5/2	ＳＴスポット	0	2	52	4	2
	Tradition⇄Contemporary 日本舞踊ワークショップ	9/12-9/13	ＳＴスポット	1,000	2	7	2	8
	＜休み時間ワークショップ＞二人のめぐみ｜ダンサー・振付家 #1	9/16	ＳＴスポット	1,500	1	18	2	2
	福留麻里『動きの幽霊』『あさっての東京』ワークインプログレス	3/23	ＳＴスポット	0	1	5	4	2
提携公演								
	かもめマシーン『ソーシャル･ビオハメニカ』	5/14-5/15	ＳＴスポット	1,000	2	52	2	4
	山縣太一『海底で履く靴には紐がない』	6/2-6/14	ＳＴスポット	2,500	12	544	52	26
	ロロ『いつだって窓際であたしたち』	11/12-11/23	ＳＴスポット	2,800	18	782	90	54
	ロロ『校舎、ナイトクルージング』	1/7-1/17	ＳＴスポット	2,800	18	822	70	60
合計						4,095	392	462

・事業総入場者：4,949 名（前年度：3,784 名）

・事業観客数：4,095 名（前年度：2,574 名）

・事業スタッフ数：854 名（前年度：1,210 名）

ＳＴスポット　創造発信事業

1.創作環境整備事業

舞台表現者育成のため創造プロセスから劇場と表現者が共同し発表まで寄添いながら創作を行いました。

aokid×橋本匠　©金子愛帆

N.N.N.after｜7 月 29 日（水）～8 月 2 日（日）

公演回数 6 回　動員 137 名

出演：aokid×橋本匠　kopic

kopic　©金子愛帆

5 年間に渡って開催してきた「N.N.N.」の、受賞者公演を行いました。「ダンスに何ができるのか／ダンスで何ができるのか／ダンスと何ができるのか」をこれからも考え続けていくであろう 2 組です。また、aokid×橋本匠は、同作品で横浜ダンスコレクション 2016　コンペティションＩの審査委員賞を受賞しました。Kopic の服部未来は N.N.N.の監修を行っていた KENTARO!!の主催するダンスカンパニーなどで活躍しています。

2.創作活動支援事業

若手、中堅アーティストによる新作公演をプロデュース、再演支援及び滞在制作による充実した制作環境による支援を行いました。

ドキュントメント　©金子愛帆

（１）ドキュントメント『となり街の知らない踊り子』｜5 月 7 日（木）～11 日（月）

全 7 回　動員 355 名

2013 年度から継続してワークショップなどを行ってきた山本卓卓のソロプロジェクト。振付・出演に気鋭のダンサー北尾亘を向かえ、満を持しての本公演を行いました。同作品は TPAM2016 のディレクションに招聘され、今年度以降、海外公演を行う予定です。

髙橋和誠　©bozzo

（２）髙橋和誠『Constellation』｜8 月 20 日（木）～22 日（土）

全 4 回　動員 80 名

横浜ダンスコレクションＥＸ2012 新人部門において最優秀新人振付家賞を受賞した髙橋和誠による、初めてのフルスケール作品をプロデュースしました。

泉秀樹　©金子愛帆

（３）Tradition ⇄ Contemporary vol.1 泉秀樹『きはなす』｜2014 年 5 月～2015 年 2 月

全4回　動員99名

ＳＴスポットの空間を活かしながら、受け継がれてきた日本の伝統芸能を若手アーティストとともにクリエーションし、現代のパフォーミングアーツシーンへの新たな視座を生み出す試み「STspot Tradition⇄Contemporary vol.1」。 今回は日本舞踊 泉流の家元であり、コンテンポラリーダンスの作品発表も行う若手日本舞踊家泉秀樹による新作日本舞踊公演を行いました。

3. 人材育成事業

（１）民俗芸能調査クラブ 2015

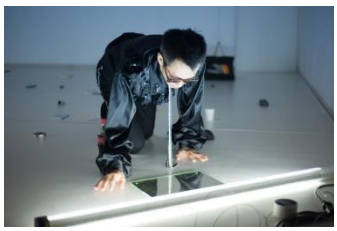
福岡県糸島市「寒みそぎ」、川崎市「禰宜舞」、奈良市「春日若宮おん祭り」、秩父市「じゃらんぽん祭り」、など、部員がそれぞれにリサーチする中でとらえた「実感」をもとに、それぞれの舞台芸術表現に置き換えた「実験」を行いました。

（２）Tradition⇄Contemporary 日本舞踊ワークショップ

１月の公演に先駆けて、身体表現に携わったことがある方向けに行ったワークショップ。

4. 企画連携事業

（１）国際交流企画



ナビゲーションズ　©相模友士郎

Dance in Asia 2015｜7 月 24 日（金）～26 日（日）｜共催　全 4 回　動員 299 名

Off-Nibroll はこれまでの活動を振り返る中で、欧米とは違う文脈のダンスがアジアにはあるのではないかとアジアをリサーチしてきました。そのような活動の中で出会ってきたアジアの振付家、日本の振付家を一堂に会する機会を設けた企画を、ＳＴスポットが制作しました。

（２）他地域交流企画

相模友士郎『ナビゲーションズ』｜9 月 25 日（金）～27 日（日）｜主催　動員 102 名

村川拓也『終わり』｜2 月 12 日（金）～14 日（日）｜共催　動員 141 名

（３）アーティスト連携事業

・坂あがりスカラシップ｜4 月-15 年 3 月｜制作協力　対象者：野上絹代（三月企画）動員 407 名

・かもめマシーン『ソーシャル・ビオハメニカ』｜5 月 14 日(木)～15 日(金)｜提携　動員 52 名

・山縣太一『海底で履く靴には紐がない』｜6 月 2 日(火)～14 日(日)｜提携　動員 544 名

・ロロ『いつだって窓際でわたしたち』｜11 月 12 日(木)～23 日(月)｜提携　動員 782 名

・ロロ『校舎、ナイトクルージング』｜1 月 7 日(木)～17 日(日)｜提携　動員 822 名

・岡崎藝術座『イスラ！　イスラ！　イスラ！』｜2 月 3 日(水)～8 日(月)｜共催 動員 368 名

・岡崎藝術座『+51 アビアシオン,サンボルハ』｜2 月 6 日(土)～8 日(月)｜共催 動員 182 名

・手塚夏子『15 年の実験履歴～私的な感謝状として』｜2 月 15 日(月)～16 日(火)｜共催 動員 112 名

5. 新規ネットワーク構築事業

他ＮＰＯ、大学との協働

・インターンシップ受入れ｜桐蔭横浜大学より前期１名、お茶の水女子大学より１名

地域連携事業部　教育普及事業

1. 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

直近５年間の実施校数の推移（単位：校）

ジャンル／年度	23		24		25		26		27	
	体	鑑	体	鑑	体	鑑	体	鑑	体	鑑
音楽	17	17	16	11	17	17	16	11	20	20
美術	11	4	8	5	11	4	8	5	19	1
演劇	6	1	9	1	6	1	9	1	8	4
ダンス	7		11		7		11		26	
伝統芸能	8	6	5	7	8	6	5	7	21	17
	49	28	49	24	49	28	49	24	94	42
合計	77 校		73 校		92 校		134 校		136 校	

直近５年間の実施校種と対象者数（単位：校）

校種／年度	23	24	25	26	27
小学校	67	63	76	112	122
中学校	5	4	8	12	6
特別支援学校	5	6	8	10	8
合計	77 校 9,945 人	73 校 7,623 人	92 校 9,517 人	134 校 14,225 人	136 校 14,088 人

担当コーディネーター(37 団体)

【アートＮＰＯなど、民間の芸術団体】12 団体：企業組合 Media Global、よこはま音楽広場実行委員会、NPO 法人子どもに音楽を、NPO 法人横浜こどものひろば、NPO 法人芸術家と子どもたち、ART LAB OVA 、民族歌舞団荒馬座、アートの時間、NPO 法人 Offsite Dance Project、NPO 法人あっちこっち、公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団、NPO 法人横浜シティオペラ

【地域の文化施設】24 団体：青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなっくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、旭区民文化センター サンハート、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、磯子区民文化センター 杉田劇場、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、象の鼻テラス、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫 1 号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、関内ホール、神奈川県立音楽堂

【事務局構成団体】1 団体： NPO 法人ＳＴスポット横浜

（１）平成 28 年度横浜市芸術文化教育プログラムの実施、アーティストの調整

学校において子どもたちが創造的な体験できるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行いました。実施期間中、事業が円滑に実施されるよう、各学校における進捗を管理しました。

（２）教師および文化芸術関係者等のためのワークショップ

a. 教師のためのワークショップ

日時：2015 年 7 月 27 日（月）10 時 15 分～16 時 20 分　会場：横浜美術館

中・高等学校美術作科研修として実施。横浜市内の小・中学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員 20 人が参加。横浜美術館教育普及チームのコーディネートにより、美術館を舞台に鑑賞をテーマとした研修を行いました。

b. 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2015 年 6 月 23 日　会場：緑区民文化センターみどりアートパーク／リハーサル室

内容：今年度に学校でのプログラムを担当するコーディネーターがあつまり情報交換を行う「コーディネーター会議」が行われ、総勢 42 名が集まりました。担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、少人数でのディスカッションを行いました。

（３）平成 28 年度横浜市芸術文化教育プログラム実施校の募集

平成 28 年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・特別支援学校に広報を行いました。

（４）芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営、相談窓口、データ蓄積、広報

芸術文化教育プラットフォームの事務局構成団体である、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、教育委員会、文化観光局と協力し、事務局を運営しました。より効果的なプログラムを実施するために、学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、WEB 更新等）を行いました。独自ドメインを取得し、年間を通して、ホームページを運営しました。また事業の進捗にあわせて、定期的に横浜市政記者クラブ等に記者発表を行い、教育委員会を通じて市内の小・中学校、特別支援学校に対してニュースレターを発行しました。

横浜市芸術文化教育プラットフォームＨＰ　http://y-platform.org/

（５）学校プログラムの実施

a. 横浜市立六浦南小学校＋山下彩子（ダンス）

日程：2015 年 9 月 29 日、30 日、10 月 5 日、7 日（全 4 日間）

対象：　４年生２クラス 50 人

学校からの要望：体を動かしながら言葉だけに頼らない表現を通し、友だち同士の信頼関係を築いたり、自分や友だちを認め合える機会となるような活動。

内容：身体を思い切り使ったダンスワークショップ。

成果：アーティストによるデモンストレーションから始まり、身体を使ったゲームを多く行いました。ゲームではのびのびと思いきり身体を動かすことで、ダンスへの抵抗感を減らしていき、子どもたちは心をどんどん解放していきました。ワークの内容を個人→ペア→クラス全体としていくことで、友だちの表現へとより目を向け、視野を広げていけたように思います。人前で表現することに消極的な子もいたが、子ども同士でも協力しあって、最終的に発表までと至ることができました。

※平成 27 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。

b. 横浜市立北綱島小学校＋石神夏希（演劇）

日程：2015 年 11 月 4 日、10 日、16 日、17 日（全 4 日間）

対象：３年生３クラス 116 人

学校からの要望：子どもたちが自信をもって表現できるきっかけとする。

体全体で表現できるような活動。

内容：地域の特徴を生かした演劇づくり。

成果：　綱島の特産である、桃をモチーフに演劇づくりに挑戦しました。地域の特徴をいかした活動で、総合的な学習など、その後の授業展開と繋がった時間となりました。

※平成 27 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。

c. 横浜市立市沢小学校＋岡田智代（ダンス）

日程：2015 年 11 月 17 日、30 日、12 月 4 日、11 日（全 4 日間）

対象：個別支援級９人

学校からの要望：普段の授業では味わえないような体験から興味を広げ、達成感を得られるような活動とし、みんなで協力してやることの楽しさを味わいたい。

内容：場面を想像しながら体を動かす。自分の表現をつくってやってみる。

成果：子どもたちが自分で決めたささやかな動きをまわりの子どもたちや教員と共有することが

できました。言葉だけではなく、身体を通したコミュニケーションは、より解放的な時間となりました。

※平成 27 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。

d. 横浜市立港南台ひの特別支援学校＋川村亘平斎（音楽／小学部）、佐々木文美（美術／中学部）

日程：音楽／2015 年 12 月 8 日、21 日、22（全 3 日間）、美術／2016 年 1 月 15 日（全 1 日間）

対象：小学部全クラス 80 人、中学部／中学２年生 13 人

学校からの要望：小学部／生の演奏や歌を鑑賞したり、一緒に歌ったり体を動かしたりする活動を通し、本物の音楽の素晴らしさを味わいたい。中学部／本物に目の前で触れる経験をしてほしい。創造力、表現力、感じる心を育みたい。

内容：　小学部／影絵ワークショップ、コンサート。中学部／空間をつかったインスタレーション。

成果：知的障害の子どもたちが通う特別支援学校。小学部では事前に影絵をのミニワークショップを実施。アーティストと顔見知りになることで、コンサートへの興味関心を高めることができました。中学部では、段ボールを使って子どもたちと創作をしながら、インスタレーションを楽しみました。

e. 横浜市立上菅田特別支援学校＋佐久間新（ダンス）

日程：2016 年 1 月 12 日、19 日、26 日、2 月 2 日（全 4 日間）

対象：高等部そうごうコース 20 人

学校からの要望：感覚を媒体とした身体意識の形成を中心とした活動。

内容：即興的な取り組みをもとにしたダンスと音楽の活動

成果：重度重複障害を持つ生徒に対して、視覚と聴覚、両方からのアプローチを試みました。ダンサーの動きやガムランの響きなど、様々なアプローチを行うことで、子どもたちへアクセスする回路を多様に展開しました。

※平成 27 年度文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」と連動して実施。

3.その他の事業

（１）　高校生・中学生のためのワークショップ「ｇｒｏｗ」

日程：Ａパート・2015 年 12 月 25 日（金）、26 日（土）

　　Ｂパート・2016 年 1 月 9 日（土）、10 日（日）

会場：急な坂スタジオ

対象：15 人

進行：萩原雄太（かもめマシーン劇作家・演出家）、清水穂奈美（俳優）

俳優と演出家それぞれの立場からワークショップを開催。アプローチの違う２人の進行により、演劇の多様さに触れることができました。横浜市高等学校演劇連盟の協力もあり、演劇部に所属する生徒をはじめ、舞台表現に興味のある、中学生・高校生が集まりました。

※横浜市高等学校演劇連盟との共同主催事業

（２）　レクチャー、シンポジウムへの出演など

・研究会「ＢＯＮＵＳ／障害者との共生：障害者とともにダンスは進化する」（主催：京都造形芸術大学　日程：2015 年 8 月 15 日　会場：京都造形芸術大学至誠館１階「S11」教室）＝田中真実が出演。

・講座「Tokyo Art Research Lab（TARL）基礎プログラム１「思考編」仕事を知る６」（主催：アーツカウンシル東京　日程：2015 年 11 月 28 日　会場：3331 Arts Chiyoda 3F／アーツカウンシル東京 ROOM 302）＝田中真実が出演。

・「文化・芸術の活用による地域づくり」（主催：公益財団法人　全国市町村研修財団　日程：2016 年 2 月 18 日　会場：市町村アカデミー）=小川智紀、田中真実が出演。

・「アートマネジメント講座 2015」講座 2「学校の現場で果たす劇場施設の役割について～横浜市 ST スポットの活動を事例に～」（主催・会場：公益財団法人豊橋文化振興財団　穂の国とよはし芸術劇場 PLAT　日程：2015 年 08 月 25 日）＝小川智紀が出演

・トークイベント「アート・人・つながり」第 2 回「人とつくるアート、人をつくるアート」（主催：愛知大学文学部現代文化コースメディア芸術専攻吉野ゼミ 2 期生、公益財団法人豊橋文化振興財団　穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 日程：2016 年 1 月 15 日 会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT)＝小川智紀が出演

・SPT×ITI レクチャーシリーズ「世界の同時代演劇を知る」演劇と社会「演劇制作の仕事―キャリア形成のケーススタディーズ」（主催：公益財団法人せたがや文化財団／公益社団法人国際演劇協会日本センター　日程：2015 年 10 月 7 日 会場：世田谷文化生活情報センター)＝小川智紀が出演

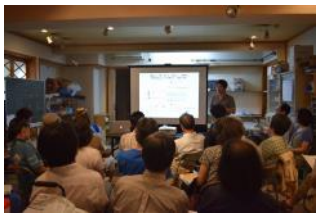
・子どもの舞台芸術活動交流会シンポジウム「アートによる人・まちづくり」（主催：子ども劇場首都圏 日程：2015 年 6 月 18 日 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター)＝小川智紀が出演

・講座「仙台市震災復興のための芸術家派遣事業　アウトリーチラボ３・コーディネーターの役割とは？」（主催：仙台市震災復興のための芸術家派遣事業実行委員会　日程：2016 年 2 月 29 日　会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）　和室）＝田中真実が出演。

地域連携事業部　交流促進事業

1. ヨコハマアートサイト 2015 事務局運営

市民やＮＰＯ団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。



（１）採択事業の選考、視察、補助金交付

補助金の交付対象事業を選考（申請 40 件中 29 件を採択）、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、補助金交付に関する事務や、交付対象団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでの支援を行いました。

ヨコハマアートサイト 2015 採択団体（採択団体数：29 団体、助成総額：16,745,000 円）

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク＋コンパス	「会社まるごとギャラリー2015」　「記録」と「記憶」展	金沢区
特定非営利活動法人 I Love つづき	横浜北部～まちじゅうアートウィーク・プロジェクト	都筑区など
AOBA＋ART 実行委員会	AOBA+ART2015：「プラたま」～遊歩道アイデアウォーク～	青葉区
旭区まちづくりポット	白根通り作曲プロジェクト―白根通りの音楽を創ろう！―	旭区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープンＤＡＹ―つどおう・かたろう・つながろう	中区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなぁど 2015」	南区
NPO 法人 Offsite Dance Project	本牧アートプロジェクト 2015	中区
金沢文庫芸術祭実行委員会	第 17 回金沢文庫芸術祭	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第 16 回手づくり紙芝居コンクール	西区
GROUP 創造と森の声	森ラボ 2015 『横浜の森美術展８』	緑区
ぐるぐるはためきアート展実行委員会	ぐるぐるはためきアート展　白楽・妙蓮寺編	神奈川区、港北区
『こども花人間まちを元気に』実行委員会	『こども花人間まちを元気に』プロジェクト	都筑区、港北区
サイト・イン・レジデンス実行委員会	サイト・イン・レジデンス 2015 環世界	泉区、戸塚区
さかえ de つながるアート	さかえ de つながるアート２０１５	栄区
NPO 法人打楽器コンサートグループ･あしあと	こころに響く打楽器作っちゃおう	中区など
「たまプラー座だよ！全員集合！」まちなかパフォーマンスプロジェクト	「たまプラー座だよ！全員集合！」まちなかパフォーマンス	青葉区
長者町アート☆プラネタリウム実行委員会	長者町アート☆プラネタリウム	中区
NPO 法人都筑民家園管理運営委員会	第 4 回　都筑・遺跡公園・民家園アート月間	都筑区
都筑アートプロジェクト	ニュータウン♡ゴースト～遺跡とアート～	都筑区
天王町商店街協同組合	保土ヶ谷こども歌舞伎	保土ヶ谷区
ともだちの丘えんげきぶ	リビングアートネットワーク	港北区
特定非営利活動法人「共に歩む市民の会」	ほっとたつはな亭	旭区
『パークは僕らの秘密基地』実行委員会	『パークは僕らの秘密基地』プロジェクト	戸塚区など

FEI ART MUSEUM YOKOHAMA	VIVA LA VIDA!　スタジオクーカ展	神奈川区
ＮＰＯ法人ぷかぷか	みんなでワークショップ	緑区
「HOME」実行委員会	「HOME」～あなたが作るストーリー～	中区
横浜下町パラダイスまつり実行委員会	横浜下町パラダイスまつり 2015＋よこはま若葉町多文化映画祭 2015	中区
横浜開港アンデパンダン展実行委員会	第四回横浜開港アンデパンダン展	西区
ライフアートユニオン	横浜のお稽古場から世界へ発信！ハマげいこプロジェクト	中区

（２）ヨコハマアートサイトラウンジなど

採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を 4 回開催しました。このほか、助成採択団体の事業報告会を「地域文化と 29 のアートな視点」として、3 月 12 日にヨコハマ創造都市センターで開催しました。

ヨコハマアートサイトラウンジ

回	企画名	テーマ	開催日	主な主演者（敬称略）	会場	協働団体
6	ヒルサイドから見るヨコハマアートサイト	ヒルサイドで活動する団体の活動紹介	2015 年 8 月 23 日	沼田真一（旭区まちづくりポット）、松本祐一（作曲家）、石山克幸（GROUP 創造と森の声）、宮地博美（特定非営利活動法人 共に歩む市民の会）ほか	白根通り商店会会館	旭区まちづくりポット
7	遺跡公園、都筑民家園とコミュニティーアート	地域に根差すコミュニティアート	2015 年 10 月 31 日	西田由紀子（よこはま市民メセナ協会会長）、高橋満（中川小学校・地域交流支援活動運営委員会委員長）、井上攻（横浜市歴史博物館副館長）、木村格（NPO 法人都筑民家園アート月間 PJ リーダー）ほか	都筑民家園 主屋	NPO 法人都筑民家園管理運営委員会
8	歩くことでまちなみがみえてくる	まちあるきと文化	2016 年 1 月 28 日	嶋田昌子（横浜シティガイド協会）、坂田太郎（サイト・イン・レジデンス実行委員会）	深谷小学校コミュニティハウス	
9	居場所、まちのなかで	アートな居場所の今後	2016 年 3 月 16 日	小川美紀雄（元横浜愛泉ホーム職員）、横山千晶（居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会）	横浜市技能文化会館	

（３）季刊ヨコハマアートサイト

横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3 カ月に 1 回のペースで定期刊行を続けています。

	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
4	本がつなぐ地域（ブックコミュニティとアート）	2015 年 6 月	鶴見区・東寺尾図書館、鶴見区・アマガサ印刷、戸塚区・有隣堂編集部、戸塚区・山の上ギャラリー、西区・喫茶へそまがり、戸塚区・舞岡八幡宮、青葉区・横浜農協田名支店春まつり、港北区・綱島ラジウム温泉東京園
5	商店街のアートなお店（商店街とアート）	2015 年 9 月	中区・チエン堂、神奈川区・カフェレストラン・一、緑区・カプカプ竹山、旭区・白根通り商店街、青葉区・JIKE STUDIO、瀬谷区・七夕灯篭祭り、栄区・本郷台青空マルシェ、磯子区・浜マーケット、戸塚区・俣野公園
6	まちなみを行く（まちあるきとアート）	2015 年 12 月	戸塚・サイト・イン・レジデンス、青葉区・AOBA+ART、中区・本牧アートプロジェクト、都筑区・都筑民家園、緑区・長津田宿、瀬谷区・新そば祭り、金沢区・街角アートラリー、都筑区・秋の中川ふれあいフェスタ、港北区・横浜矯正展
7	居場所で出会う（居場所とアート）	2016 年 3 月	中区・カドベヤ、西区・ふりーふらっと野毛山、瀬谷区・見守りの家、磯子区・臨海緑地公園、泉区・スマートイルミネーションいずみ、中区・本牧アートプロジェクト、緑区・ぷかぷか、栄区・さかえ de つながるアート

2. インターンシップ等の受入れ

大学生２名をヨコハマアートサイトの事業で受け入れました。神奈川県内に拠点を持つ NPO 法人等との連携などを強めることができました。

※平成 27 年度ボランタリー団体成長支援事業「若者定着支援による団体基盤強化および活性化促進事業」、NPO 法人アクションポート横浜との協働。

3.福祉分野における芸術文化活動の基盤整備事業

平成 27 年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「障害と身体表現をめぐる研究会」を実施しました。調査、勉強会・ワークショップ、報告会の３つを中心に事業を展開しました。横浜市内での障害と芸術文化の取り組みの状況の把握を含めて、関係団体と繋がることができ、今後の事業展開につながるきっかけとなりました。

【調査】横浜市内の福祉施設 1,258 か所を対象に調査票による調査を実施。338 か所より回答があり、横浜市内の現状の把握につながった。また、全国の先進的な事例の視察においても、７地域 11 か所において、広く調査を行うことができた。

【勉強会・ワークショップ】2015 年 11 月 25 日～2016 年 2 月 17 日にかけて、全５回の勉強会およびワークショップを行った。調査員を含む、のべ 60 名が参加した。

【報告会】2016 年 3 月 14 日に報告会をＳＴスポットにて行い、60 名が参加した。調査や勉強会・ワークショップなど今年度実施の内容について報告を行い、会場内での議論を行った。

活動計算書

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　　平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

科目	金額（単位:円）		
Ⅰ　経常収益			
1．受取会費			
正会員受取会費	100,000		
フレンドシップ会員受取会費	13,000		
入会金	3,000	116,000	
2．受取助成金等			
受取民間助成金	0		
受取補助金	73,550,000	73,550,000	
3．事業収益			
事業収入	1,729,088		
利用協力費	5,449,307		
受託費	4,104,000	11,282,395	
4．その他収益			
雑収入	9,491		
その他の収入	56,934	66,425	
経常収益計			85,014,820
Ⅱ　経常費用			
1．事業費			
(1)　人件費			
給与手当	16,210,134		
通勤費	936,660		
臨時雇賃金	3,763,830		
法定福利費	2,581,728		
人件費計	23,492,352		
(2)　その他経費			
諸謝金	5,435,883		
委託費	37,540,877		
制作費	145,500		
消耗品費	1,112,182		
印刷費	1,386,756		
広報宣伝費	4,218,058		
旅費交通費	1,646,135		
支払手数料	104,103		
地代家賃	1,488,412		
会場借上費	191,750		
通信費	1,613,737		
会議費	1,113,322		
設備費	1,905,549		
リース料	269,640		
租税公課	235,315		
その他経費計	58,407,219		
事業費計		81,899,571	
2．管理費			
(1)　人件費			
給料手当	173,250		
通勤費	4,625		
法定福利費	27,592		
退職給与操出金	1,000,000		
人件費計	1,205,467		
(2)　その他経費			
諸謝金	547,430		
租税公課	0		
設備緊急対策金	100,000		
その他経費計	647,430		
管理費計		1,852,897	
経常費用計			83,752,468
当期経常増減額			1,262,352
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ　経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,262,352
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			1,187,852
前期繰越正味財産額			10,829,153
次期繰越正味財産額			12,017,005

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　　平成28年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2011年11月20日一部改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。
(1)　消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
(2)　引当金の計上基準
・退職給与引当金
将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
・設備緊急引当金
設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
(3)　準備金の計上基準
・企画連携事業準備金
今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。

2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

（単位：円）

科目	施設運営事業	創造発信事業	教育普及事業	交流促進事業	事業費計
(1) 人件費					
給与手当	4,839,729	0	5,527,155	5,843,250	16,210,134
通勤費	277,812	0	460,553	198,295	936,660
臨時雇賃金	1,225,030	0	1,906,460	632,340	3,763,830
法定福利費	770,805	0	880,290	930,633	2,581,728
人件費計	7,113,376	0	8,774,458	7,604,518	23,492,352
(2) その他経費					
諸謝金	72,313	1,247,850	2,462,472	1,653,248	5,435,883
委託費	0	0	20,795,877	16,745,000	37,540,877
制作費	0	126,016	0	19,484	145,500
消耗品費	72,444	49,874	960,569	29,295	1,112,182
印刷費	50,960	44,940	955,670	335,186	1,386,756
広報宣伝費	16,719	182,939	0	4,018,400	4,218,058
旅費交通費	69,620	103,417	778,398	694,700	1,646,135
支払手数料	28,986	330	49,887	24,900	104,103
地代家賃	0	0	857,785	630,627	1,488,412
会場借上費	0	7,200	8,900	175,650	191,750
通信費	775,244	9,422	376,973	452,098	1,613,737
会議費	173,038	126,664	360,218	453,402	1,113,322
設備費	1,905,549	0	0	0	1,905,549
リース料	269,640	0	0	0	269,640
租税公課	219,715	0	13,400	2,200	235,315
その他経費計	3,654,228	1,898,652	27,620,149	25,234,190	58,407,219
合計	10,767,604	1,898,652	36,394,607	32,838,708	81,899,571

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

（単位：円）

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
横浜市／STスポット運営補助金	0	6,100,000	6,100,000	0	
横浜市／芸術文化教育プログラム推進事業補助金	0	32,440,000	32,440,000	0	
横浜市／地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	0	29,245,000	29,245,000	0	
横浜市／ アーツフェスティバル実行委員会	0	300,000	300,000	0	
神奈川県／文化活動団体事業補助金	0	100,000	100,000	0	
文部科学省／児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験	0	2,000,000	2,000,000	0	
文化庁／ 戦略的芸術文化創造推進事業	0	3,365,000	3,365,000	0	
合計	0	73,550,000	73,550,000	0	

貸借対照表

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　　平成28年3月31日現在

科　　目	金　　額（単位：円）		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	22,948,298		
未収入金	60,000		
仮払金	80,000		
流動資産合計		23,088,298	
2. 固定資産			
(1)投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			24,348,298
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	598,184		
仮受金	755,000		
流動負債合計		1,353,184	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	5,222,631		
設備緊急引当金	4,255,478		
固定負債合計		10,978,109	
負債合計			12,331,293
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,829,153	
当期正味財産増減額		1,187,852	
正味財産合計			12,017,005
負債及び正味財産合計			24,348,298

財産目録

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　　平成28年3月31日現在

科　目	金額(単位:円)		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	621,278		
住信SBIネット銀行　法人第一支店　普通	10,401,184		
三菱東京UFJ銀行　横浜駅前支店　普通	1,004,399		
三菱東京UFJ銀行　横浜駅前支店　普通	5,223,308		
三菱東京UFJ銀行　横浜駅前支店　普通	1,442,521		
静岡銀行　横浜支店　普通	4,255,608		
未収入金			
未収会費	60,000		
仮払金			
つり銭	80,000		
流動資産合計		23,088,298	
2. 固定資産			
(1)投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			24,348,298
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	598,184		
仮受金			
横浜市	755,000		
流動負債合計		1,353,184	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	5,222,631		
設備緊急引当金	4,255,478		
固定負債合計		10,978,109	
負債合計			12,331,293
正味財産			12,017,005